



平成17年1月6日

各 位

宮崎県宮崎市新栄町33番地
株式会社コスモス薬品
代表取締役社長 宇野正晃
(コード番号: 3349 東証マザーズ)
問い合わせ先 専務取締役 小野幸弘
管理本部長
T E L 0985-62-1355 (代表)

平成17年5月期中間期及び通期の業績予想の修正について

平成16年11月中間期(平成16年6月1日～平成16年11月30日)及び平成17年5月期(平成16年6月1日～平成17年5月31日)の業績予想について、平成16年11月11日に発表致しました業績予想を下記のとおり修正致します。

1. 中間期(平成16年6月1日～平成16年11月30日)の業績予想数値の修正

【連結中間期】

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	37,412	1,193	588
今回修正予想 (B)	35,504	930	464
増減額 (B-A)	▲1,908	▲262	▲123
増減率	▲5.1%	▲21.9%	▲21.1%
(ご参考) 前期実績 (平成15年11月期)	27,809	582	281

【単体中間期】

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	36,597	1,199	591
今回修正予想 (B)	34,637	888	446
増減額 (B-A)	▲1,960	▲311	▲144
増減率	▲5.3%	▲25.9%	▲24.5%
(ご参考) 前期実績 (平成15年11月期)	27,080	575	274

2. 通期（平成16年6月1日～平成17年5月31日）の業績予想数値の修正

【連結通期】

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	80,953	2,724	1,369
今回修正予想（B）	76,000	2,400	1,241
増減額（B－A）	▲4,953	▲324	▲128
増減率	▲6.1％	▲11.8％	▲9.3
（ご参考） 前期実績（平成16年5月期）	59,413	1,890	947

【単体通期】

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	79,324	2,697	1,355
今回修正予想（B）	74,400	2,300	1,191
増減額（B－A）	▲4,924	▲397	▲164
増減率	▲6.2％	▲14.7％	▲12.1
（ご参考） 前期実績（平成16年5月期）	57,783	1,818	903

3. 中間期業績予想修正の理由について

当中間期におきましては、大型台風の直撃・猛暑等の天候不順の影響を蒙っております。その中で既存店（13ヶ月基準）の売上高対前年伸び率は平均5.79%と健闘いたしましたが、新店につきましては、開店時の特別な販促活動の不足等により開店初期段階の計画売上高を達成できずに、計画営業赤字を超えております。新規出店の開店進捗及び黒字転換に要する期間の予定に乖離はありませんが、以下のマイナス要因の影響が予想より大きいため、前回発表致しました中間期の予想数値を下回る見込みとなりました。

<上期におけるマイナス要因>

①天候不順

猛暑により日中の外出減によるマイナス。20時閉店の営業時間では影響大。

猛烈な大型台風が九州を4度直撃。（8月に1回、9月に2回九州に上陸。10月に1回最接近）
昨年を上回る暖冬により冬物商材が動かず。

②焼酎ブームの異常過熱による欠品

集客商材でもある焼酎の納品率が48%（地域によっては7%）と品切れ状態によるチャンスロス

③会計処理関係

社員の退職給付費用について、従来の「簡便法」を「原則法」に変更して、より合理的な計算方法を採用。差額31百万円を特別損失に計上。

4. 通期業績予想修正の理由について

通期につきましては、当社の上期下期利益配分は、決算期が5月（中間期11月）であることから、下期偏重（前期の利益配分 上期：下期＝1：2）の傾向が強い特徴がありますが、今期の予算は下期を保守的に計画しておりました。よって、下期は暖冬の影響を受けながらも業績に関しましては大きなブレはないと判断しておりますが、天候不順（冬季の大雨等）は今後も継続するとの慎重な見方を採用し、当初の業績予想を修正いたします。

なお、中間期及び通期の予想は過去最高の増収増益の見込みであります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上